

続いて、第2の柱 『ふるさとを愛する豊かな心づくり』についてであります。

子どもたちにとって、よりよい教育環境を整えていくため、新年度は、「学校のあり方実施計画」を策定します。現在、学校の統合・再編や「地域とともにある学校」、ふるさと教育、教職員の働き方など、学校教育の基本的な考え方を示し、保護者や地域住民など広く関係者の皆さまと意見交換を行っております。いただいた様々な意見を集約し、検討委員会で協議を進めてまいります。

今後は、その計画をもとに、これまでの教育の魅力化の取り組みを更に進め、全ての子どもたちが笑顔でふるさとへの愛着を育み、それぞれの自己実現に向けて活動できるよう、教育の質の向上と教育環境の整備に取り組んでまいります。

まず、児童生徒の基礎学力の向上につきましては、小学校低学年の学習支援を中心に支援員を配置するとともに、豊かな心や思考力・判断力・表現力などを高めることが出来るよう、引き続き、子ども読書活動推進員を配置し、就学前からの読書活動を推進してまいります。

教育機会の確保につきましては、特別な支援を要する児童生徒やいじめ・不登校などの課題を抱える児童生徒、また、その保護者への相談体制を充実するなど、きめ細かな支援に努めてまいります。

今年度、久手幼稚園に開設した「幼児期通級指導教室」は、対象幼児の生活上の困難の克服・改善に有効であり、ニーズも高いことから、引き続き、取り組んでまいります。

また、本年2月8日に開催した「おおだ教育フェスタ」には、多くの方々にご参加いただきました。引き続き、大田の未来を担う子どもたちの育成について語り合う機会として開催してまいります。

教職員の働き方改革につきましては、タイムカードの導入により、職員一人ひとりの勤務状況の把握ができたことから、改革への意識付けが浸透しつつあります。引き続き、研修会などを開催し、業務改善の取り組みを進めてまいります。

次に、教育環境につきましては、新年度から学校教育において正式にプログラミング教育が必修化されることから、学校ネットワークの整備を進め、ICTを活用して子どもたちが楽しく論理的な思考を学べる環境を整えてまいります。

このほか、大森小学校の耐震診断及び改修設計を実施することとしております。

教育大綱としての「大田市教育ビジョン基本構想」に基づき、教育全般に関する施策や具体的な取り組みを明確にした現行の「大田市教育ビジョン基本計画」については、前期計画期間が終了することから、後期計画を策定してまいります。

次に、主体的に地域を担う人材の育成についてであります。

市民だれもが主体的に地域社会の担い手として地域課題の解決に向けて生き生きと活動できるよう、学びの機会の充実に取り組んでまいります。

「今後の公民館のあり方」につきましては、昨年10月の提言を基に、まちづくりセンターとともに、持続可能なまちづくりに向けた体制について検討を進めてまいります。

図書館につきましては、ボランティア団体の協力による読み聞かせ活動や、学校図書館司書とも連携した調べ学習を推進してまいります。

また、中央図書館の空調機器や照明などの大規模改修を実施します。

第20回をもちまして終了としました、「難波利三ふるさと文芸賞」につきましては、引き続き、市内小中学生を対象に、ふるさとへの想いや愛着をテーマとした、

作文募集を行い、難波先生の功績を顕彰してまいりたいと考えております。

また、全国植樹祭の開催記念事業として、県立三瓶自然館サヒメルにおいて、“三瓶山十二勝”の絵巻物の展示、小中高校生のスケッチや写真展示等を含めた企画展を行うことにしております。

自然、歴史、伝統文化の活用につきましては、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」や国立公園三瓶山、国指定天然記念物「琴ヶ浜」、日本遺産「石見神楽」などをはじめとする、本市の貴重な資源の適切な保存に努めるとともに、有形・無形の多様な文化財の活用を図るため、「大田市文化財保存活用地域計画」の策定を進め、魅力と活力ある地域づくりを推進してまいります。

石見銀山遺跡につきましては、小中学校での石見銀山学習や市内の高等学校、企業と連携した取り組みを充実するとともに、新たな石見銀山学概説書の刊行や解説版の多言語化、バーチャルリアリティ技術を活用した銀山採鉱当時の映像を制作するなど、多くの方々に世界遺産としての価値と理解が深まるよう取り組みを進めてまいります。

次に、山村留学についてであります。

修園生の中には、市内で就職し、家庭を持ち定住にもつながっております。

学校との連携を更に進め、児童生徒の「生きる力」の育成と、活力ある持続的な地域づくりに資する取り組みにつなげてまいります。

多文化共生につきましては、今年度中に策定する「大田市多文化共生推進計画」に基づき、外国人居住者が安心して生活できるよう、国際交流員や市内関係団体とともに、多文化理解を進めるための講座や、交流会の開催など、その実現に向けた取り組みを進めてまいります。